

栃木県農業大賞審査基準

1 農業経営の部

項 目	配点	審 査 基 準
経 営	35	【目標設定と計画性】 適切で明確な経営目標や経営理念があり、計画的な経営を行っている 【農業所得と経営の発展】 農業所得が高く経営規模が着実に拡大している 【生産方式の改善】 生産方式の合理化（機械や施設の活用、農地集積、集団化等）が図られている 【経営管理の改善】 経営管理の合理化（役割分担の明確化、PCを活用した経理や生産管理等）が図られている 【労働環境の改善】 適正な労働時間を達成するとともに、労働負担軽減（休日制、臨時雇用活用等）や労働環境整備（休憩所の設置、福利厚生等）により、労働者の働きやすさに配慮している 【法人化】 法人化した、もしくは法人化に向けた計画を行っている
生産技術	25	【基礎的技術】 基礎的な栽培・飼養管理が優れ、高い収量や品質を達成している 【先進技術】 新規性の高い技術（スマート農業技術）や品種を導入し、省力かつ高い生産性を実現している
販売	25	【高付加価値化】 6次産業化やブランド化等によって有利販売が行えている 【多様な販売】 販路拡大や販売方法の工夫によって経営の安定化が図られている
環境負荷低減等	10	【環境負荷低減】 環境に配慮した生産により持続性の高い経営が行われている 【安全安心】 GAPの実践や適正な生産管理により安全安心な生産が行われている
その他	5	【地域貢献】 地域への貢献（新規就農者の育成、経済効果、モデルケースとしての波及等）が認められる
計	100	

2 農村活性化の部

項 目	配点	審 査 基 準
地域づくり の担い手の 確保	20	若者、女性や高齢者等、外部人材などを含めた持続性があるコミュニティ活動になっているか
地域農林水 産業への 寄与	20	農林水産業を核とした産地づくり・特産品づくり、農産物の加工・販売等、都市と農村の交流等を通じて所得向上につながっているか
住みよい 農村環境の 保全・向上	20	活動の成果として、うるおいのある人間関係の構築、地域の環境の改善等の利益を受けているか
地域づくり のための自 主的な努力 ・創意工夫	15	【必要性】 地域の農林水産業や農山村に係る諸問題の解決のために必要な活動であるか 【取組過程】 自主的な努力と創意工夫により進められてきた活動であるか
合意形成 ・計画性	15	【計画性】 地域づくりの目標・課題が設定され、計画性を持った総合的な活動が行われているか 【地域内外の合意形成】 取組活動について、地域内外の幅広い関係者を含めた合意となっているか
推進体制の 整備・運営	10	【推進体制の整備】 規約等が整備され、公正な運営ができるよう確保されているか 【他の組織・集団等との連携】 活動が円滑に行えるよう、他の地域組織や行政機関等と連携・協調しているか
計	100	

3 芽吹き力賞

項 目	配点	審 査 基 準
活動の動機と着想	30	【問題意識や想い】 活動の動機に独自の問題意識や経験に裏打ちされた想いがある 【着想】 活動の着想に新規性があり、発想力に優れている
課題解決に向けた創意工夫	20	【創意工夫】 創意工夫や斬新な発想によって課題解決に取り組んでいる
推進体制	10	【目標設定と計画性】 明確な目標が掲げられ、活動が計画性をもって推進されている 【合意形成と運営】 メンバーや関係者との合意形成のもとで、実施主体が自立的に運営されている 【外部との連携】 外部との連携により効果的な活動が展開されている
活動の成果	20	【活動の成果】 活動によって一定の成果が得られている 【波及効果】 活動が他の組織等の活動に波及している
今後の発展性	20	【今後の発展性】 活動が今後発展し、広がりを見せる可能性がある
計	100	